

要約

導入目的

- フィッシング攻撃やオンライン不正に対抗するためのセキュリティ強化

チャレンジ

- 顧客の利便性と高度なセキュリティレベルのバランス
- 顧客に分かりやすく負担にならないフロー
- 短期間での導入

結果および効果

- 短期間で高度なセキュリティの導入を実現できた
- 他のセキュリティ機能との多重防御で、オンライン詐欺のリスクの著しい低減に効果を発揮
- 顧客が自身の意向に合ったハードウェアまたはソフトウェアトークンの選択が可能となった

## 三菱東京UFJ銀行は、リテールオンラインバンキングサービス「三菱東京UFJダイレクト」において、VASCOのワンタイムパスワード(DIGIPASS)利用を必須化しました

日本を代表するメガバンクである三菱東京UFJ銀行は、強固なセキュリティと顧客利便性のバランスを追求し、安全なオンライン取引環境を提供し続けます。

### 最先端のオンライン詐欺に対抗すべく、VASCOを選択

三菱東京UFJ銀行は、世界最大規模でなおかつ多岐にわたる金融サービスグループを傘下に抱える三菱UFJフィナンシャルグループの中核組織であり、日本を代表する大手銀行のひとつです。同行がVASCOのソリューション導入を検討し始めた頃、フィッシング攻撃や不正の勢いはとどまるどころを知らず、認証情報の窃取によって銀行業界では多くの詐欺被害が報告されていました。「三菱東京UFJダイレクト」における1,600万人以上の契約者の安全な取引環境を確保するためには、巧妙化する攻撃に対策を講じることが急務と捉え、VASCOのワンタイムパスワード(OTP)を選択しました。

2014年、同行ははじめにVASCOのDIGIPASS for MobileとVACMAN Controller を利用して、スマートフォン用のOTPアプリをリリースしました。「三菱東京UFJダイレクト」の利用者のうち、希望者のみの申込制でサービス提供を開始します。翌2015年、スマートフォンの有無にかかわらずすべての顧客がOTP機能を利用できるよう、VASCOのキーパッド付(トランザクション署名機能を持つ)ハードウェアトークンDIGIPASS 275を希望する顧客へ配布するようになりました。これにより同行の顧客は、自身のライフスタイルや用途に合わせてハードウェアまたはソフトウェアトークンを選択できるようになりました。

また、各種不正に対応するセキュリティ強化のため、2016年9月から、「三菱東京UFJダイレクト」でこれまで希望制としていた振込等の一部のサービスでOTP利用の必須化に踏み切りました。



## 豊富な実績とソリューションの将来性に評価

2014年のOTP導入に際しVASCOを選択した理由は、利用者に分かりやすいことやセキュリティが強固である点でした。更に、日々技巧的になる攻撃に対して、効果的な対策を“短期間で導入できること”も明確な課題でした。リテール事業部 基盤商品グループ瀧澤氏は次のように振り返ります。「VASCOのソリューションはソフトウェアだけでなく、DIGIPASS 275などのハードウェアトークンも持ち運びに便利でカスタマイズ性が高いところが魅力でした。また、将来想定されるリスクを予見した実装を提案していただき、大変助かりました。」

「前年10月にOTP利用の必須化を発表して以来、多い日には1日に1万枚を超えるハードウェアトークンのお申し込みを頂戴するような状況でした。短期間で相当数のハードウェアトークンの製造をお願いしましたが、これまでお客様には円滑に配布されています。」と、同部 同グループ川西氏はVASCOのキャパシティを評価しています。



## 更なる利便性と安全性の向上を目指して

三菱東京UFJ銀行は常にテクノロジーやセキュリティの最新動向に注目し、導入後も利便性と安全性を向上するための努力を続けています。スマートフォン用バンキングアプリケーションへのVASCOのDIGIPASS for Appsの組み込みも、その一例です。リテール事業部 基盤商品グループ 畠山氏は次のように述べています。「当初は独立したOTPアプリを提供していましたが、VASCOのDIGIPASS for Appsを利用して、OTP機能だけでなく様々なセキュリティ機能をSDKとして弊社のアプリに組み込むことでユーザビリティやセキュリティを向上させました。」これにより、同行のインターネットバンキングアプリ(スマートフォン用銀行アプリ)は、多機能アプリとして改良していくことが可能となります。

「全てのお客様に利用していただくものですから、常にお客様の声を聞きながら改善をしていかなければなりません」と、同部同グループ 長谷川氏は語ります。畠山氏は、同行のセキュリティ対策について次のように語ります。「VASCOの包括的な認証ソリューションを含め、多重の防御手段を講じることで、オンライン詐欺のリスク低減に大きな効果を上げてきました。これからもお客様に安心してサービスをご利用いただくために、VASCO製品の革新性には注視していきたいと思えます。」

三菱東京UFJ銀行では、「三菱東京UFJダイレクト」以外に、法人向けオンラインバンキングサービスやグローバルCMSサービスでもVASCOのソリューションを採用しており、各サービスの取引レベルに合わせてセキュリティ設定もカスタマイズしています。



OneSpanは、お客様のデジタルトランスフォーメーションを大胆に前進させることによって、金融機関を始めとする多くの組織を成功へ導きます。人々のアイデンティティ、人々が利用するデバイス、さらに、人々の生活を形作るトランザクションの信頼性を確立していきます。これこそが強いビジネスの実現および成長の礎であると弊社は考えています。世界の銀行上位100行のうち半数以上を含む、10,000社以上のお客様が、OneSpanのソリューションを活用して、最も重要な関係やビジネスプロセスを保護しています。デジタルオンボーディングから、不正軽減、ワークフロー管理まで、OneSpanの一体的なオープンプラットフォームにより、コストの削減、顧客獲得の加速、顧客満足度の向上を図ることができます。

お問い合わせ：

詳しくは、下記にお問合せください。

[info-japan@OneSpan.com](mailto:info-japan@OneSpan.com)

[www.OneSpan.com](http://www.OneSpan.com)



Copyright © 2018 OneSpan North America Inc., all rights reserved. OneSpan™, Digipass®, Cronto® は、OneSpan North America Inc.とOneSpan International GmbHの両方またはそのいずれかの米国およびその他の国々での登録商標または未登録商標です。その他の商標または商号は、全て、それぞれの所有者の所有物です。OneSpanは、仕様をいつでも予告なしに変更する権利を留保します。OneSpanは、本文書において提供した情報について、正確かつ信頼できると考えています。しかしながら、OneSpanは、かかる情報の利用について、また利用の結果、第三者の特許権等の権利を侵害したとしても、一切責任を負いません。最終更新：2018年5月